



岡山県内経済情勢報告

令和5年10月25日

財務省中国財務局
岡山財務事務所

本調査にかかるお問い合わせ先
財務省中国財務局岡山財務事務所
財務課長 原田
TEL (086) 223-1131 内線 411

1. 総論

【総括判断】「緩やかに回復しつつある」

項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→

（注）5年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）	前回比較
----	------------	-------------	------

個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は減益見込み	→
企業の景況感	「上昇」超に転じている	「下降」超に転じている	↘
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
輸出	前年を下回っている	前年を下回っている	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店販売は、外出機会の増加により化粧品などが好調なことから前年を上回っている。スーパー販売は、物価高騰による節約志向がみられるものの、人流回復に伴う手土産需要により菓子類などが好調なことから前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、猛暑の影響によりアイスクリームや飲料などが好調なことから前年を上回っている。家電大型専門店販売は、猛暑の影響によりエアコンが好調なことなどから前年を上回っている。ドラッグストア販売は、医薬品などが好調なことから前年を上回っている。ホームセンター販売は、節約志向がみられるものの、猛暑の影響により扇風機などが好調なことから前年を上回っている。乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも前年を上回っている。

このように、個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 【百貨店】好調な状況が継続している高額品（美術品・宝飾品）に加え、猛暑や感染症の5類移行により化粧品などが好調であったことから、売上が前年を上回っている。
- 【スーパー】物価上昇により消費者の節約志向が続いているものの、商品単価の上昇に加え、人流回復に伴う帰省客の増加により、手土産用の菓子類が好調だったことから、売上が前年を上回っている。
- 【コンビニエンスストア】猛暑の影響から、アイスや飲料、冷やし麺が好調に推移したほか、物価高で手頃感のあるパンやおにぎりが好調となっている。
- 【ドラッグストア】インフルエンザ・夏風邪の流行により風邪薬が好調な状況は引き続いており、品薄の状態が続いている。
- 【ホームセンター】猛暑の影響から、扇風機や夏物寝具、冷感商品などの季節品が好調となっている。
- 【商店街】感染症の5類移行やイベントの開催により人流は増加。今後もマルシェなどのイベントを定期開催する予定としており、売上増加に期待している。
- 【専門店】感染症の5類移行による人流増加や、商品値上げの影響から、売上は大きく増加し、コロナ禍前の水準を上回っている。今年の夏は、子供を含む家族旅行が増えており、お菓子などの関連商品が大きく伸びている。

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

化学は、定期修理などの影響により減少している。鉄鋼は、自動車向けの需要が回復傾向であることから横ばいとなっている。電気機械は、中国の需要回復が緩やかとなっているものの、スマートフォン向けの需要が底堅いことから横ばいとなっている。自動車は、供給制約の影響が緩和されていることから横ばいとなっている。石油精製は、国内外ともに需要が堅調なものの、設備不具合の影響により減少している。造船は、一定量の受注残を抱えていることから横ばいとなっている。工作機械は、海外需要が弱含んでいることから減少している。

このように、生産活動は、足踏みの状況にある。

- 【化学】定期修理でプラントを順次停止させたほか、国内外の需要に弱い動きが見られる。
- 【鉄鋼】船舶向けの需要が堅調であるなか、自動車産業における生産状況の改善を受けて、自動車向けの需要が好調であることから、前年を上回って推移している。
- 【電気機械】中国の需要回復が緩やかとなっているものの、スマートフォン向けの生産量が増加している。
- 【自動車】一部に影響が残るものの供給制約の影響が緩和されていることから、前年を上回っている。
- 【石油精製】外出機会の増加、航空需要の回復からガソリンやジェット燃料の需要が引き続き堅調となっているものの、設備の不具合で稼働率が下がっている。

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

雇用情勢は、卸売・小売業の新規求人数が増加していることから、緩やかに持ち直している。

- 【職業紹介】卸売・小売業で新規出店などを要因に求人は増加している一方で、物価上昇に伴う企業収益悪化の影響による弱い動きもみられることから、有効求人倍率は概ね横ばいとなっている。
- 【運輸、郵便】慢性的なドライバー不足により最小限の人員でどうにか業務をこなしているものの、2024年問題も控えており、人手不足は一層深刻となるとみている。

■ 設備投資 「5年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年7-9月期

- 製造業では、鉄鋼で大型投資の反動減がみられるものの、自動車、食料品などで生産能力の増強投資がみられることから、前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、金融・保険で老朽化による店舗建替えや改装などがみられるものの、小売、農林水産業で前年度投資の反動減などがみられることから、前年度を下回る見込みとなっている。

- 【鉄鋼】今年度は省エネ対応のための設備投資を予定しているものの、前年度に製造ラインの大型投資を行ったことから反動減となっている。
- 【自動車】新型車対応のため、金型や製造ラインの更新を予定している。
- 【食料品】需要に対応するため製造ラインを増強していることによるもの。
- 【金融・保険】店舗建替えのほか、新紙幣に対応するためATMの更新を予定している。
- 【小売】昨年、大規模な改装やテナントの入替えを行った反動から前年度比で減少している。

■ 企業収益 「5年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年7-9月期

- 製造業では、価格転嫁の進展により食料品などで増益見込みとなるものの、設備投資による減価償却費の増加により化学や、海外需要の減少により情報通信機械などで減益見込みとなっている。
- 非製造業では、客足の回復により小売などで増益見込みとなるものの、光熱費などの高騰により情報通信や宿泊・飲食サービスなどで減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年7-9月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超に転じている。なお、翌期は「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数で見ると、分譲住宅が増加するものの、貸家や持家などが減少していることから前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を下回っている」

- 輸出は、品目別では非鉄金属などが増加しているものの、石油製品や鉄鋼などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、中東などが増加しているものの、アジアや大洋州などで減少していることから、前年を下回っている。

岡山県内経済情勢報告

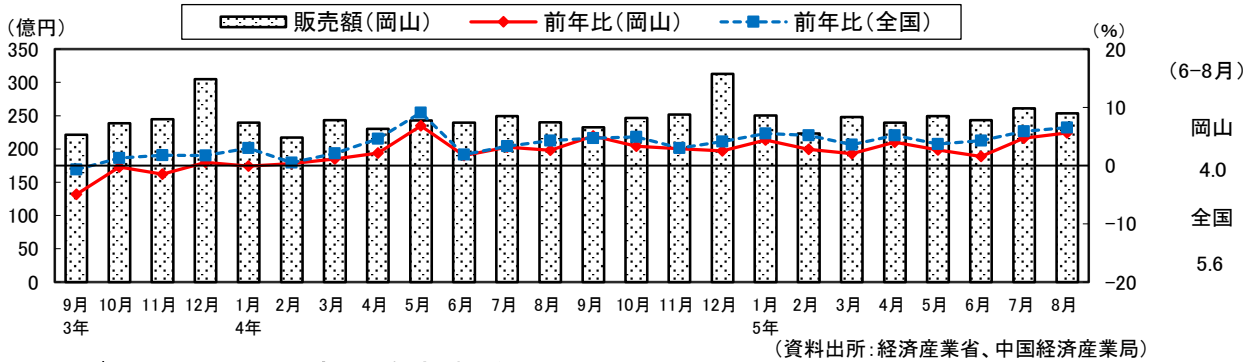
資料編

	目次	ページ
1.	個人消費.....	1
2.	生産活動.....	3
3.	雇用情勢.....	4
4.	設備投資.....	5
5.	企業収益.....	5
6.	企業の景況感.....	5
7.	住宅建設.....	6
8.	輸出.....	6

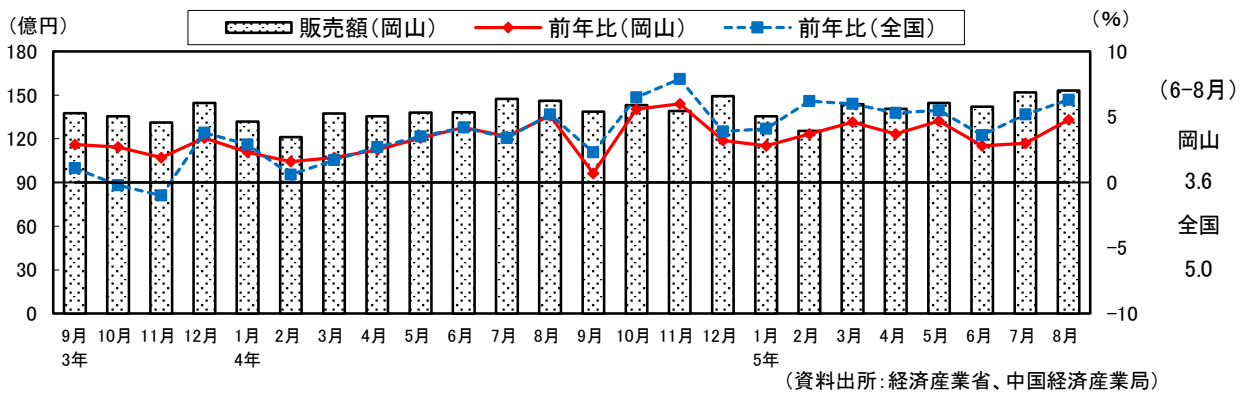
※グラフの外枠（右側）に記載している計数は、各項目の状況を分析する上で参考とした前年比、指数、倍率。

1.個人消費 緩やかに回復しつつある

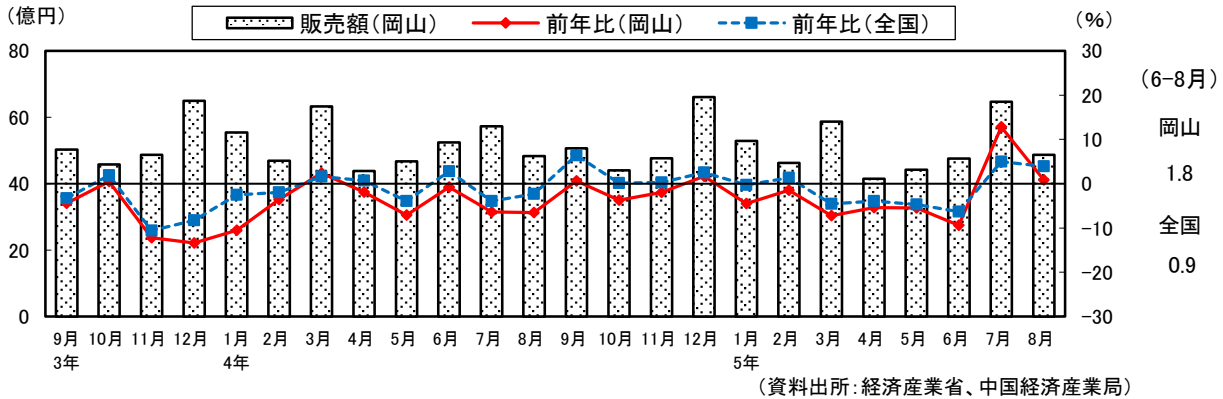
(1)百貨店・スーパー販売額(全店舗:前年比)



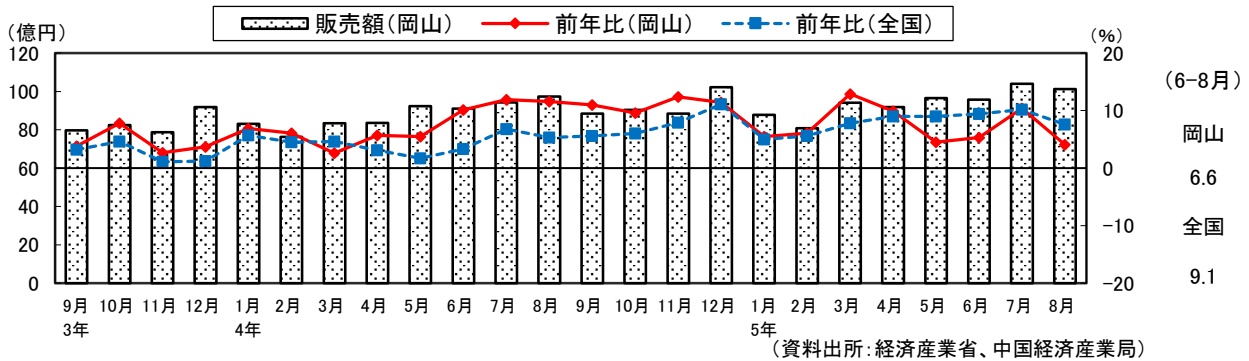
(2)コンビニエンスストア販売額(全店舗:前年比)



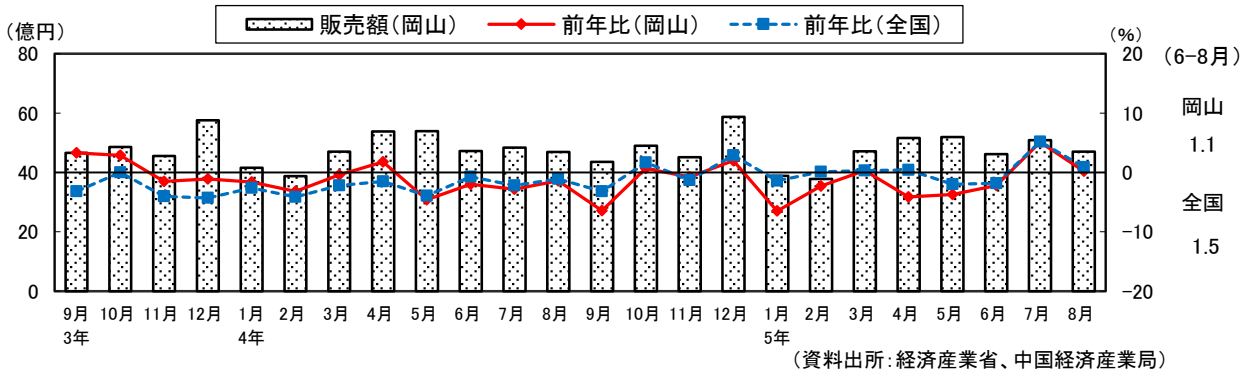
(3)家電大型専門店販売額(全店舗:前年比)



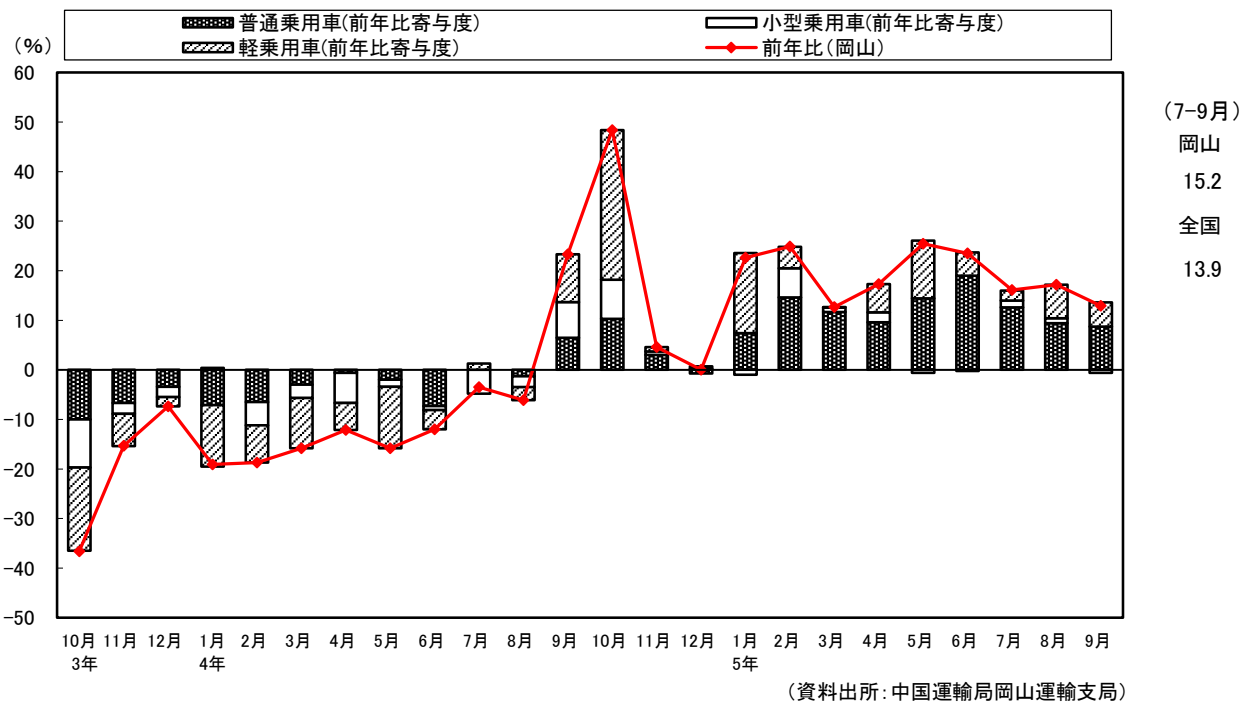
(4)ドラッグストア販売額(全店舗:前年比)



(5) ホームセンター販売額(全店舗:前年比)



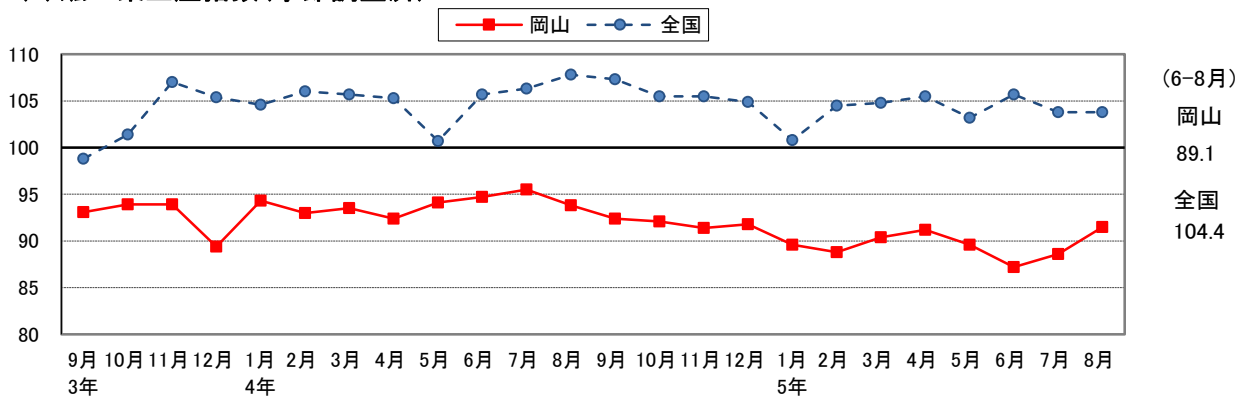
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



2.生産活動 足踏みの状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整済)

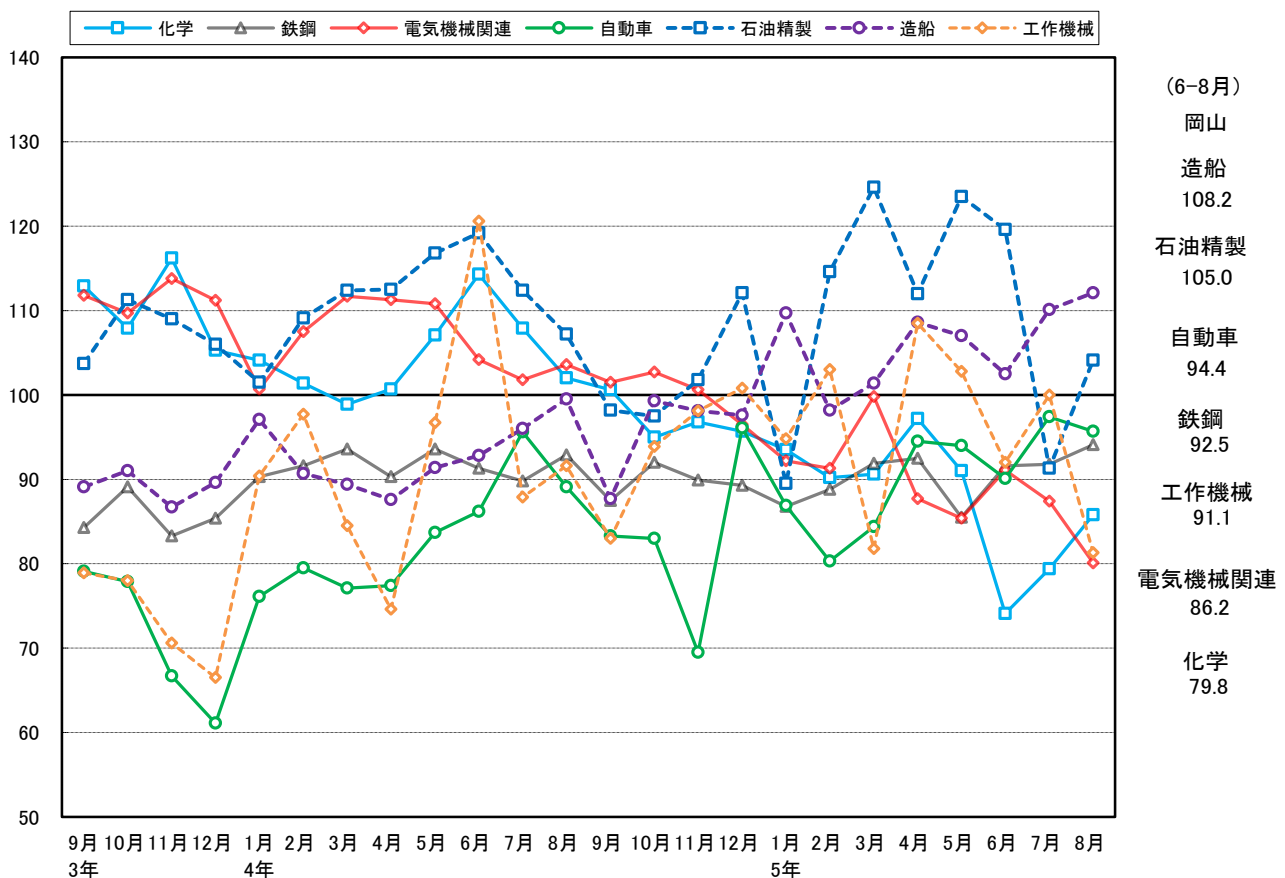
(指数)(全国:令和2年=100、岡山:平成27年=100)



(資料出所:経済産業省、岡山県)

(2) 主要産業別生産指数(季節調整済)

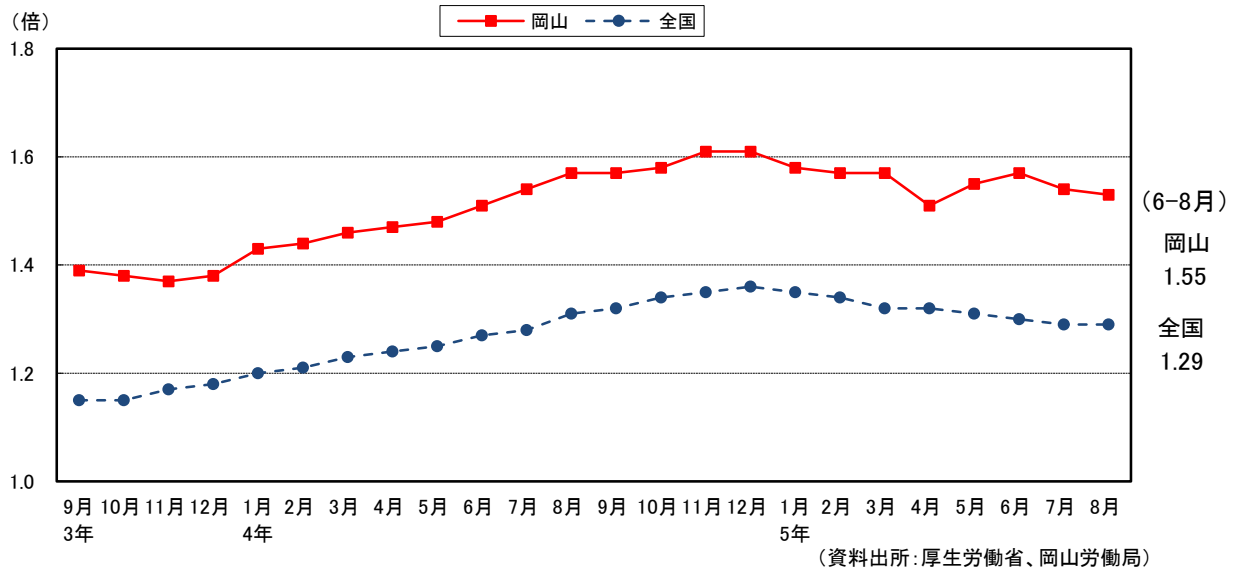
(指数)(平成27年=100)



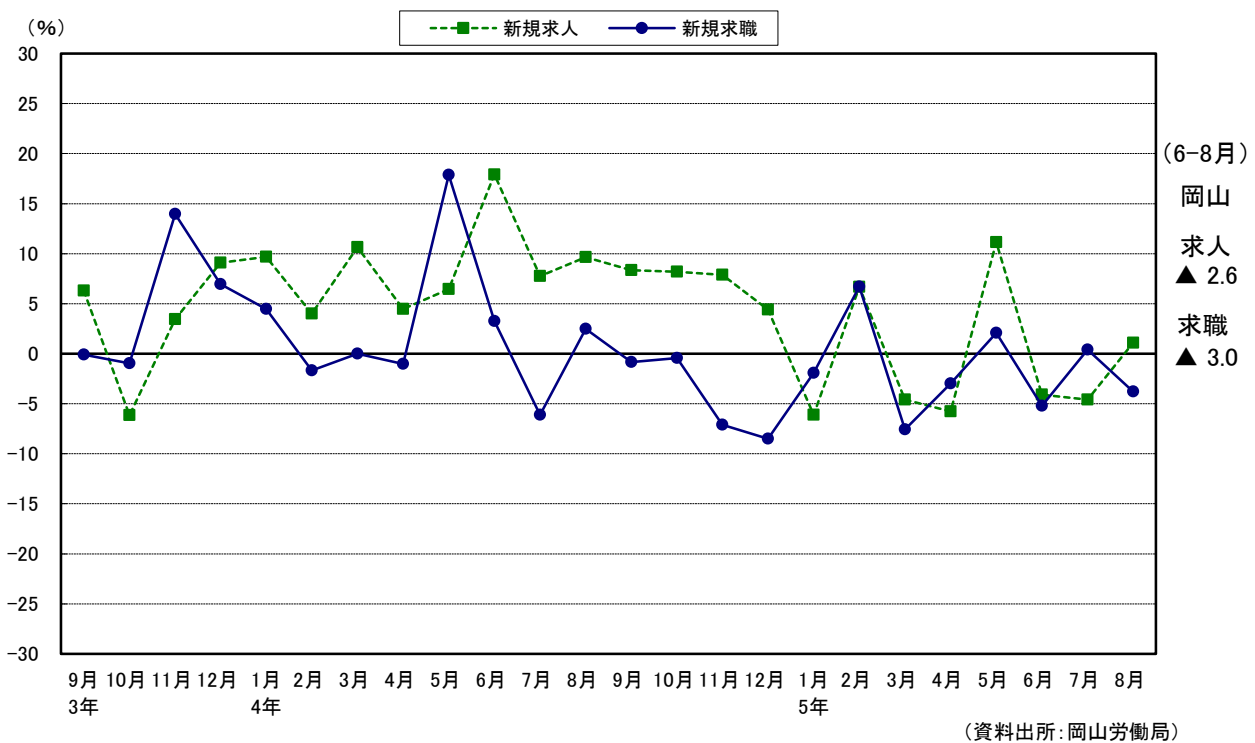
(資料出所:岡山県)

3.雇用情勢 緩やかに持ち直している

(1)有効求人倍率(学卒を除く、季節調整値)



(2)新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



4.設備投資(除く土地、含むソフトウェア投資) 5年度は前年度を上回る見込み

(前年度比増減率:%)

設備投資	全産業		製造業		非製造業	
	(前年度)	(増減率)	(前年度)	(増減率)	(前年度)	(増減率)
5年度	(20.2)	0.9	(18.5)	3.2	(26.4)	▲ 3.7

(注)当所法人企業景気予測調査(5年7~9月期)結果
()書きは前回(5年4~6月期)調査結果

(資料出所:岡山財務事務所)

5.企業収益(電気・ガス・水道業及び金融業・保険業を除く) 5年度は減益見込み

(前年度比増減率:%)

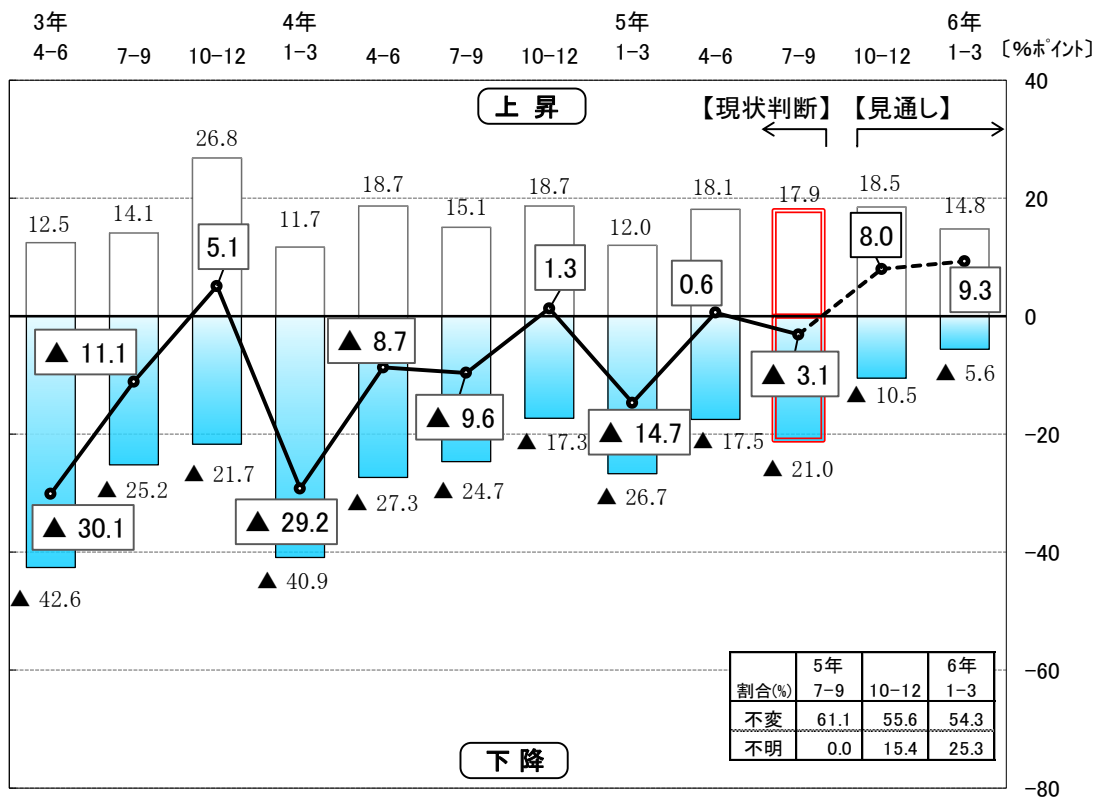
経常利益	全産業		製造業		非製造業	
	(前年度)	(増減率)	(前年度)	(増減率)	(前年度)	(増減率)
5年度	(▲23.5)	▲ 32.8	(▲27.0)	▲ 46.4	(▲17.2)	▲ 11.6

(注)当所法人企業景気予測調査(5年7~9月期)結果
()書きは前回(5年4~6月期)調査結果

(資料出所:岡山財務事務所)

6.企業の景況感 「下降」超に転じている

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

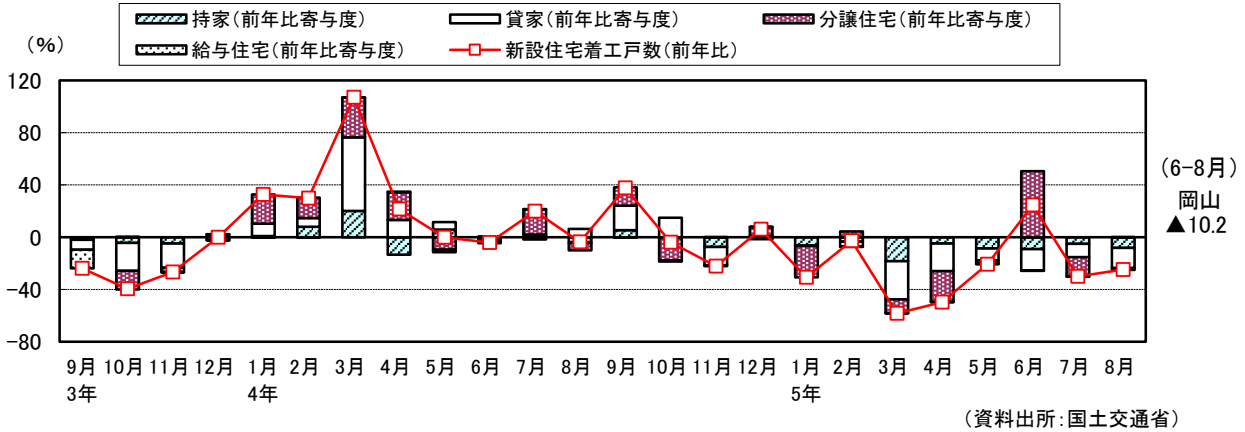


(注)当所法人企業景気予測調査(5年7~9月期)結果

(資料出所:岡山財務事務所)

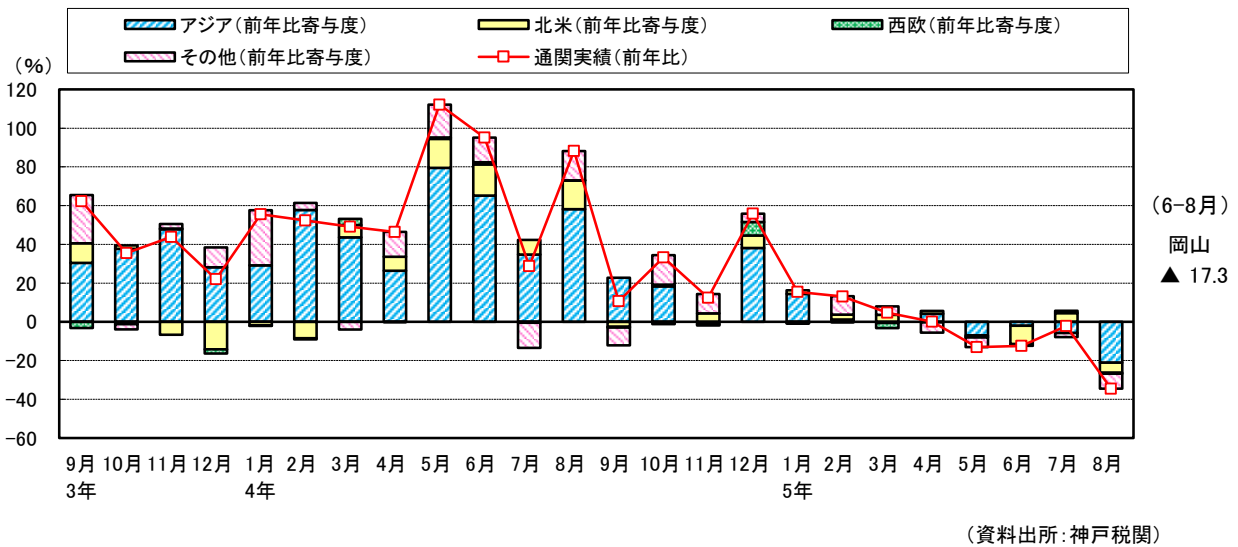
7.住宅建設 前年を下回っている

新設住宅着工戸数(前年比及び利用形態別寄与度)



8.輸出 前年を下回っている

輸出(円ベース)



<参考>

輸入(円ベース)

